

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	令和5年4月1日	終期	令和8年3月31日
補助事業名	新潟市社会福祉協議会運営費補助金						
[下段に制度概要を記載]	社会福祉法人新潟市社会福祉協議会の運営を支援する。						
款・項・目	民生費・社会福祉費・社会福祉総務費						
所属等	福祉部 福祉総務課			電話 025-226-1173			

年 度		令和5年度（1年目）		令和6年度（2年目）		令和7年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	453,741	国 10,919	473,682	国 11,290	476,037	国 10,867
	決算(千円)	448,142	国 8,790	469,324	国 11,290	476,037	国 10,867
補助率		10/10		10/10		10/10	
目 標		社会福祉活動の円滑な運営、地域福祉の充実、向上に寄与すること					
		<目標が数値でない場合の評価方法> 事業の実施状況、成果等を審査					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化	<p>※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください</p> <p>○既存の体制では対応できない地域ニーズを把握・解決するためコミュニティソーシャルワーカーを中心とした福祉専門職のネットワーク構築に取り組む。</p> <p>○福祉総合相談センターにおいて、様々な福祉課題にワンフロア・ワンストップで対応する。</p> <p>○各区社協で策定した地域福祉活動計画に基づき、地域課題に応じた福祉課題に対して様々な団体や関係機関と連携して対応する。</p>	<p>○既存の体制では対応できない地域ニーズを把握・解決するためコミュニティソーシャルワーカーを中心とした福祉専門職のネットワーク構築に取り組む。</p> <p>○福祉総合相談センターにおいて、様々な福祉課題にワンフロア・ワンストップで対応する。</p> <p>○各区社協で策定した地域福祉活動計画に基づき、地域課題に応じた福祉課題に対して様々な団体や関係機関と連携して対応する。</p>	<p>○既存の体制では対応できない地域ニーズを把握・解決するためコミュニティソーシャルワーカーを中心とした福祉専門職のネットワーク構築に取り組む。</p> <p>○福祉総合相談センターにおいて、様々な福祉課題にワンフロア・ワンストップで対応する。</p> <p>○各区社協で策定した地域福祉活動計画に基づき、地域課題に応じた福祉課題に対して様々な団体や関係機関と連携して対応する。</p>			
補助事業者による情報の公表	事業用パンフレットに記載						

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<p><a～fにおける取組> 社協の設立目的や事業内容により、自主財源の確保は難しく、管理運営部門の件費・運営費等について補助を行っている。経営の自立性や健全性を図るために自主財源の見直しや事業活動収入の増加、経費節減に努めており、市としても協力を行っていく。</p> <p><g～hにおける取組> 目標の性質上、数値化できない。</p>			
目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 福祉ニーズが多様化、複雑化するなか、民間福祉活動の中核機関として位置付けられる新潟市社協に対し、今後も継続した補助を行い、社協の運営を安定させることで地域福祉の増進を図り、市民の期待に応えていく。					